

(別紙1) カリキュラム予定

時間	科目	研 修 内 容		担当講師
13：30～13：40	開 講 式			—
13：40～14：10	Ⅰ 目的	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する	埼玉精神神経 センター 丸木雄一先生
		到達 目標	1 研修の目的を理解する 2 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する 3 認知症の人を取り巻く施策等について理解する	
		主な 内容	・入院する認知症の人に起こっていること ・認知症の人の将来推計 ・認知症に関連する国の施策（研修の背景） ・一般病院での認知症対応のための体制整備の要点	
14：10～14：20	休 憩			—
14：20～15：30	Ⅱ 対応力	ねらい	疾患を理解し、入院中の対応の基本を習得する。	埼玉精神神経 センター 榮子伸子先生
		到達 目標	1 疾患の特徴を理解する 2 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する 3 各専門職の役割と院内連携について理解する	
		主な 内容	・認知症の病型、症状、経過 ・治療薬と薬物以外の療法とケア ・介護者への支援・認知症の人の理解・認知症ケアの基本 ・行動・心理症状（BPSD）への対応・せん妄への対応 ・各医療従事者の基本的な役割と院内連携上の役割	
15：30～15：40	休憩			—
15：40～16：20	Ⅲ 連携等	ねらい	院内・院外の多職種連携の意義を理解する	埼玉精神神経 センター 丸木雄一先生
		到達 目標	1 多職種連携の意義とメリットを理解する 2 院内・院外で多職種連携する必要性について理解する 3 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する	
		主な 内容	・多職種連携のメリット ・入院前、退院後も含めた多職種・他機関連携 ・多職種で行うカンファレンス ・入院時・退院時カンファレンスの主な検討課題	
16：20～16：30	休 憩			—
16：30～17：50	Ⅳ 演習	目的・ 意義	・認知症の困難事例やせん妄の事例を通して、チームで解決する方法を考える ・さまざまなBPSDに対して、薬物療法だけでなく、ケアや対応、非薬物療法を検討する ・演習を通じ、病院での認知症の課題をチームで解決することを学ぶ	埼玉精神神経 センター 榮子伸子先生
17：50～18：00	事務局から案内			—